

世界自閉症啓発デー2025（令和7年4月2日）に寄せて

毎年4月2日は、国連の定める「世界自閉症啓発デー」です。また、我が国では、4月2日から8日までを「発達障害啓発週間」として、様々な啓発活動に取り組んでいます。

今年は、「みんな たいせつ つながる えがお」をキャッチコピーとして、全国各地で、自閉症のシンボルカラーである青色で地域を照らす「ライト・イット・アップ・ブルー」など様々な取組が行われています。

また、すべての子どもたちのアイデンティティーや友情を尊重し、多様性豊かな社会で、子ども全員が自分自身に誇りを持ち、居場所を感じられるようにとの願いが込められた楽曲「WE BELONG わたしたちのうた」は、世界自閉症啓発デー日本実行委員会の公式テーマソングとなっています。

子ども家庭庁では、自閉症や発達障害のある子どもも含めすべての子どもの健やかな育ちを支え、障害の有無にかかわらず、地域で安心して暮らすことができるよう、児童発達支援センターを中核とした地域の障害児支援体制の整備やインクルージョンの推進に加え、新たに、関係機関が連携した「気づき」の段階からの早期の発達支援の推進に取り組むほか、養育支援や預かりニーズへの対応などの家族支援の充実などを進めています。

今後とも、子どもの視点に立って意見を聴き、その声を大切にして、子どもたちにとって最もよいことは何かを考えながら、「子どもまんなか社会」の実現と、すべての子どもが、それぞれの多様性を認め合い、尊重し合い、誇りをもって生きられる社会の実現を目指し、関係省庁とも連携して取組を推進してまいります。

「世界自閉症啓発デー」や「発達障害啓発週間」が、子ども1人ひとりの個性や特性を理解し、子どもや子育てをしている人の気持ちに想いを馳せて、寄り添う契機となることを強く期待して、私からのメッセージといたします。

令和7年4月2日

子ども政策担当大臣 三原 じゅん子